

荒川流域エコネット地域づくり推進協議会(仮称)の活動内容について

平成29年11月16日

(2) 取り組みの進め方について (案)

① 指標種や地域づくりのシンボルを設定することについて

【地域振興・経済活性化】

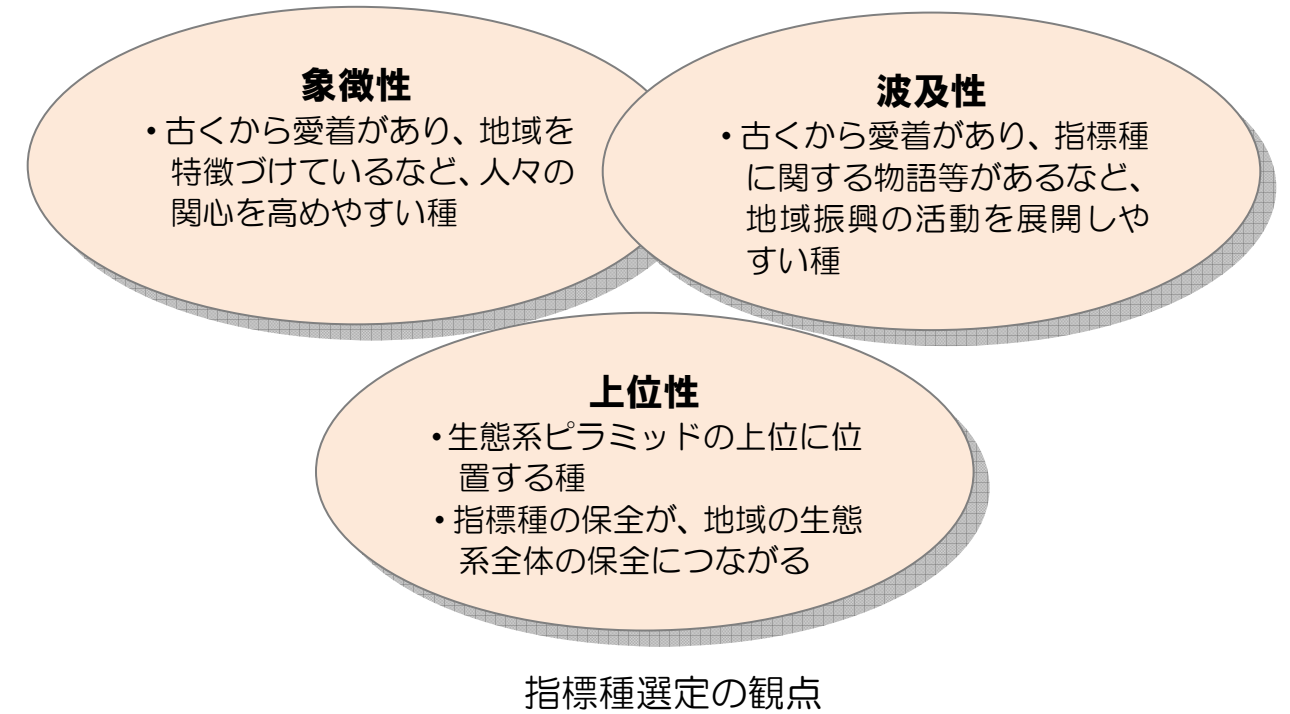
- 象徴性のある種
(人々の関心を高めやすい種)
- 波及性のある種
(地域振興の活動を展開しやすい種)

地域づくりの取り組みを効果的に推進するためには、目に見えるシンボルの存在が有効

【生物生息環境】

- 生態系ピラミッドの上位に位置する種
(上位性のある種)

エコロジカル・ネットワークの形成については、指標種の生息に適した水辺環境になることを目標として、各種取り組みを推進することが有効



② 荒川流域エリアにおける指標種や地域づくりのシンボルの設定 (案)

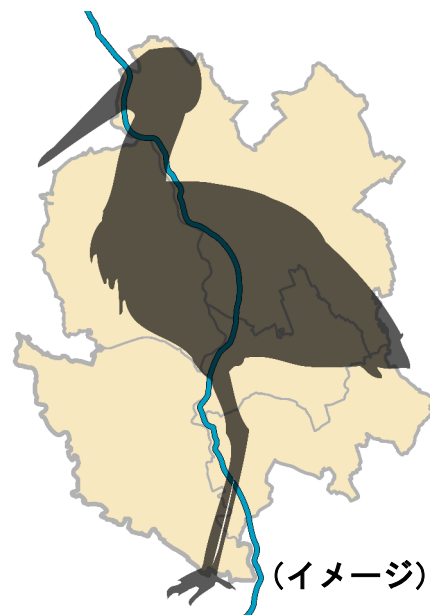
- 「コウノトリ・トキ」 関東地域での指標種

- 「地域を特徴づける種」
 - 「積極的に保全の取り組みがおこなわれている種」
 - 「観光振興に活用されている種」
- 行政計画等に記載されている種

エリア共通の指標種を選定

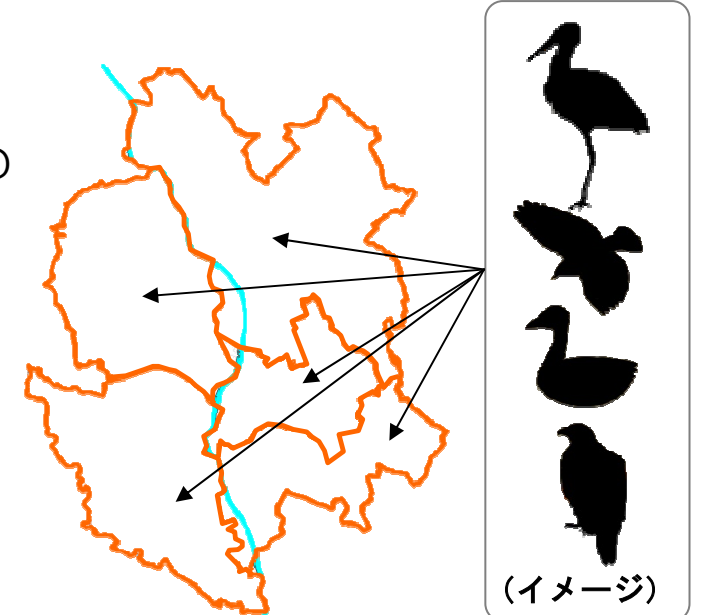
荒川流域エリアで共通する指標種を選定

関東地域におけるコウノトリ・トキを指標とした生態系ネットワーク基本計画において「コウノトリ・トキ」を指標種として設定されている。



市町ごとにシンボルを選定

各市町の行政計画等に位置づけのある種や、既に積極的な保全の取り組みが行われている種など、必要に応じて市町ごとに選定

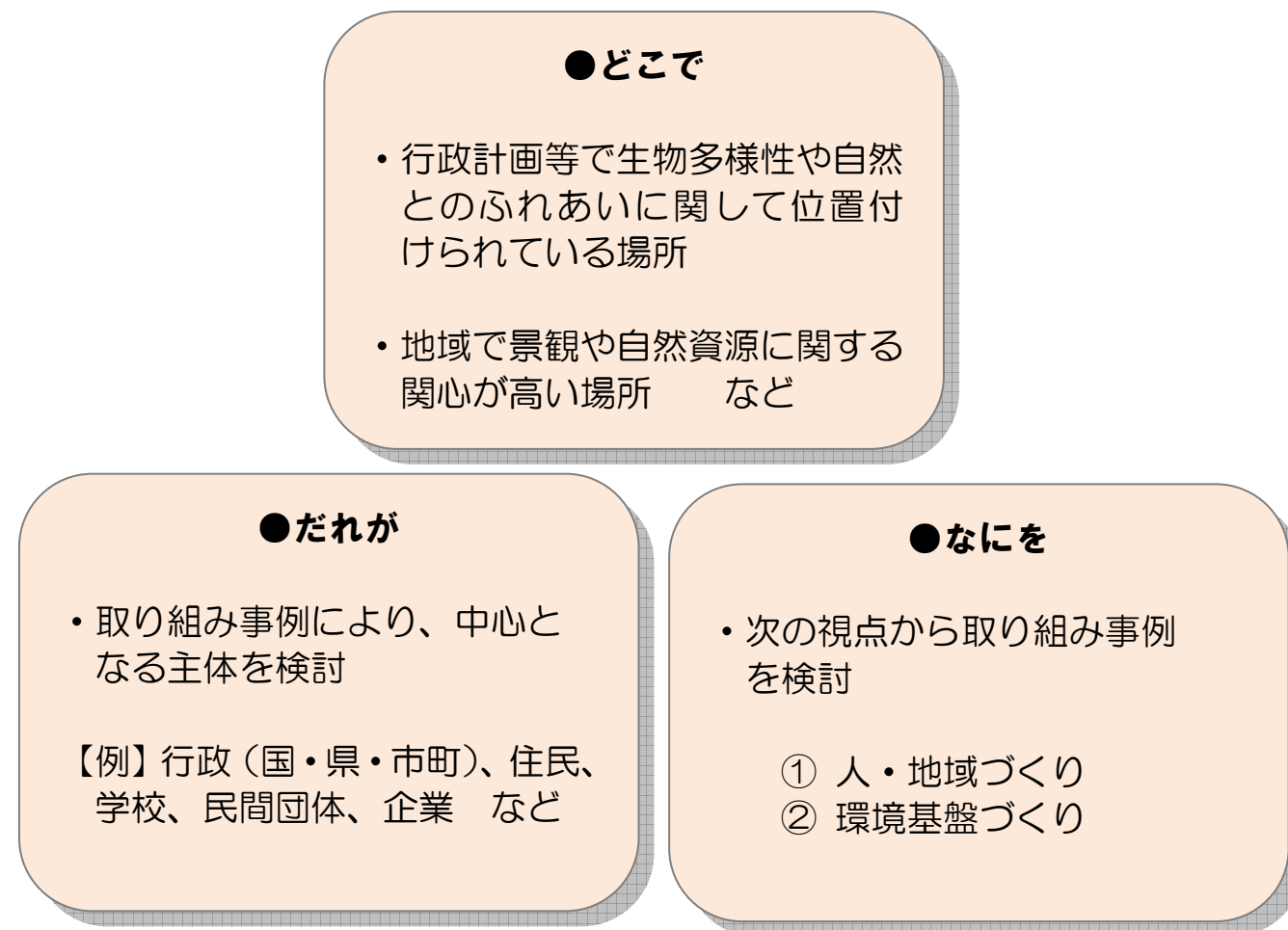


(3) アクションプラン(案)の作成について

①概要

エコロジカル・ネットワークの形成による魅力的な地域づくりを実現するため、関係機関がそれぞれに、あるいは関係機関が連携・協力して実施する取り組みをとりまとめた「アクションプラン(案)」を作成する。

※アクションプラン(案)の内容については、「関東地域におけるコウノトリ・トキを指標とした生態系ネットワーク形成基本計画」(平成28年3月)等との整合を図る。



アクションプラン(案)の内容(イメージ)

②構成(イメージ)

■目指す将来像

「エコロジカル・ネットワークの形成と、賑わいのある地域振興・経済活性化による魅力的な地域づくり」

■目標

地域振興・経済活性化に関する分野

- (1) 地域の自然資源を活かした地域振興・経済活性化が図られている
- (2) プロジェクトの継続・発展に向けた仕掛けがつけられている
- (3) 多様な主体が参加する仕組みがつけられている

生物生息環境に関する分野

- (1) 河川における多様な生物生息環境が形成されている
- (2) 農地における多様な生物生息環境が形成されている
- (3) 森林、里山林における多様な生物生息環境が形成されている

■取り組みの項目

人・地域づくり

- (1) 地域の自然資源を活かした地域振興・経済活性化の推進支援
- (2) プロジェクトの継続・発展に向けた仕掛けづくり
- (3) 多様な主体参加の仕組みづくり

環境基盤づくり

- (1) 河川における多様な生物生息環境の形成
- (2) 農地における多様な生物生息環境の形成
- (3) 森林、里山林における多様な生物生息環境の形成

③進め方

■平成29年度

- ・現状把握、課題の抽出
- ・目標の設定および具体的な取り組みの検討

■平成30年度～

- ・アクションプラン(案)の策定
- ・アクションプラン(案)の実行および進捗管理